

# 日立財団多文化共生社会の構築フォーラム

2021年12月19日（日）ご視聴実績

多くの皆さまからご回答をいただき、大変ありがとうございました。  
アンケートの結果をご報告します。

幅広い職業、年齢、居住地の方の意識を知ることができる調査になりました。

問3の「外国につながるのがある高校生に関する知識」では、全体的に認知度の上昇がみられますが、昨年同様に、教育に関わられている方と企業関係者の間では、理解度の差はまだ顕著に表れています。

また、問7の外国につながるのがある高校生の置かれた状態では、「日本人より少し困難」の回答が教育関係者ほか全体として増加している点は、コロナ禍などでの全国的な厳しい社会情勢の影響も覗われます。

2020年調査結果を参考用に [ ] 表示で記載いたしました。

	2021年	2020年
教育関係者	165	209
NPOなど市民団体	46	84
国自治体関係者	39	37
企業関係者	64	74
学生	14	107
自営業	10	9
主婦	7	-
その他	59	69
合計	404	589

視聴者数 404名  
アンケート回収数 255名  
回答率 63% [ 2020年 61% ]

	視聴者数	回答者数	回答率	構成率
教育関係者	165	121	73.3%	47.5%
NPOなど市民団体	46	36	78.3%	14.1%
国自治体関係者	39	25	64.1%	9.8%
企業関係者	64	28	43.8%	11.0%
学生	14	12	85.7%	4.7%
自営業	10	6	60.0%	2.4%
主婦	7	4	57.1%	1.6%
その他	59	23	39.0%	9.0%
合計	404	255	63.1%	100.0%

	視聴者数	回答者数	回答率	構成率
10才台	4	3	75.0%	1.2%
20才台	17	10	58.8%	3.9%
30才台	29	22	75.9%	8.6%
40才台	86	51	59.3%	20.0%
50才台	124	81	65.3%	31.8%
60才台	91	69	75.8%	27.1%
70才～	30	19	63.3%	7.5%

## ご視聴後のアンケート結果

視聴者数	404名	[ 589 ]
アンケート回収数	255名	[ 359 ]
回答率	63%	[ 61% ]

質問1 関心のあったセッションはどれですか  
(複数回答可)

Q1 関心のあったセッション	
講演 兵頭社長	93
講演 桐谷教育長	165
講演 榎井特任教授	180
トークセッション	153

質問2 フォーラムの満足度を教えてください。

平均 4.0 ( 5段階評価 )

Q2 満足度	
5段階評価	4.0
教育関係者	3.8
NPOなど市民団体	3.9
国・自治体関係者	3.9
企業関係者	3.8
学生	4.1
自営業・主婦	3.9
その他	4.4

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

質問3 外国につながるのある高校生のことを知っていましたか

はい	241	94.5 %	[ 90.8% ]
いいえ	11	4.3 %	[ 8.7 % ]
無回答	3		

質問4 外国につながるのある高校生への支援は十分か

はい	15	5.9 %	[ 5.8% ]
いいえ	203	79.7 %	[ 77.7% ]
無回答	37	14.5%	[ 16.4% ]

質問5 外国につながるのある高校生や大学生の就労にハンデがあると思うか

はい	215	84.3%	[ 84.4% ]
いいえ	7	2.7 %	[ 2.5% ]
無回答	31	12.2%	[ 12.8% ]

質問6 外国につながるのある小中学生への支援は十分か

はい	15	5.9%	[ 11.4% ]
いいえ	204	80.0 %	[ 73.4% ]
無回答	36	14.1%	[ 15.3% ]

質問7 外国につながるのある高校生の置かれた状態

日本人と同等かそれ以上	1		
日本人より少し困難	50	19.6 %	[ 15.9% ]
日本人より大いに困難	204	80.0%	[ 84.1% ]

質問8 外国につながるのある高校生の支援を充実させるために必要なことは何か  
(単一回答)

教育現場での理解と行動	63	24.7%
地域や社会、企業の理解と行動	60	23.5 %
高校と地域の中学校・支援者との良いつながり・連携	40	15.7%
都道府県と市町村の連携強化	13	5.1%
NPOなど市民の力を生かす仕組みや政策	22	8.6%
寛容の心、包摂の心を社会全体え持つこと	32	12.5%
その他	25	9.8%

質問10 フォーラムに参加したいと思った理由  
(複数回答可)

テーマに興味があったから	196	39.8%
スピーカーに興味があったから	67	13.4 %
深刻な社会問題として理解したいから	28	5.6%
身近にいる外国につながるのある子どもたちの支援のため	116	23.2%
多文化共生社会の現状について知りたかったから	84	16.8%
その他	8	

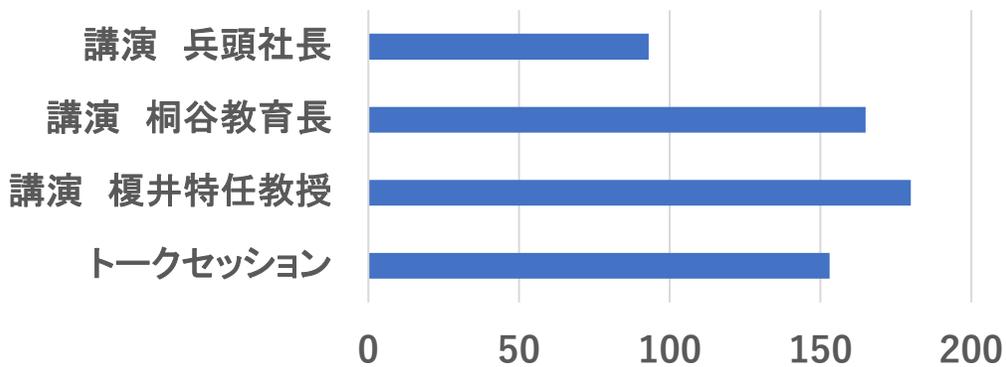
## ご視聴後のアンケート結果

視聴者数 404名 [ 589 ]  
 アンケート回収数 255名 [ 359 ]  
 回答率 63% [ 61% ]

質問1 関心のあったセッションはどれですか  
 ( 複数回答可 )

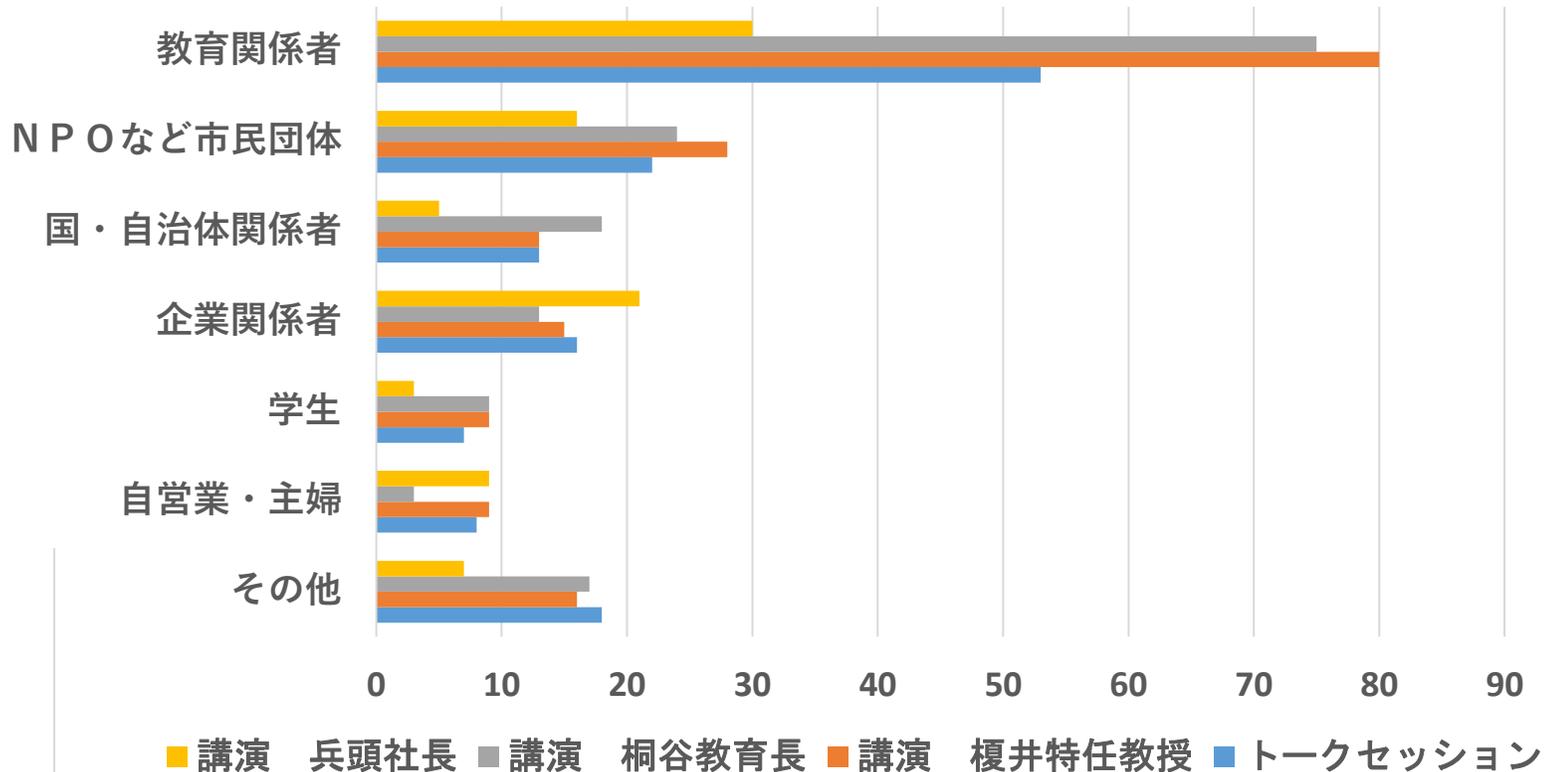
Q1 関心のあったセッション	
講演 兵頭社長	93
講演 桐谷教育長	165
講演 榎井特任教授	180
トークセッション	153

質問1 視聴者の関心のあったセッション  
 (複数回答)



[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

質問1 視聴者の関心があつたセッション (複数回答)



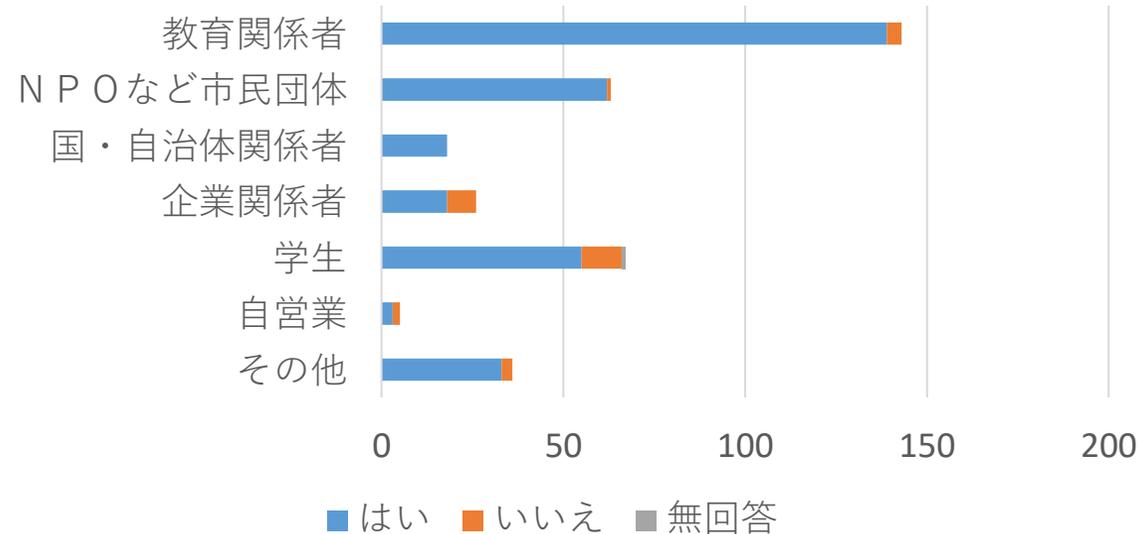
質問3 外国につながるのがある高校生のことを  
知っていましたか

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

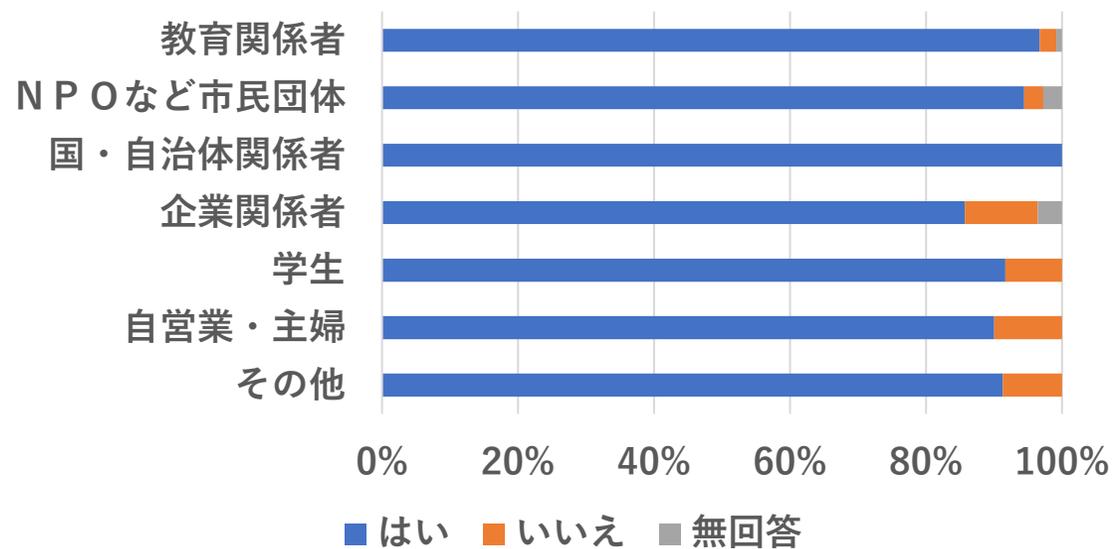
はい	241	94.5 %	[ 90.8% ]
いいえ	11	4.3 %	[ 8.7% ]
無回答	3		

問い3 外国につながるのがある高校生のことを知っていましたか			
Q3	はい	いいえ	無回答
教育関係者	117	3	1
NPOなど市民団体	34	1	1
国・自治体関係者	25	0	0
企業関係者	24	3	1
学生	11	1	0
自営業・主婦	9	1	0
その他	21	2	0
合計	241	11	3

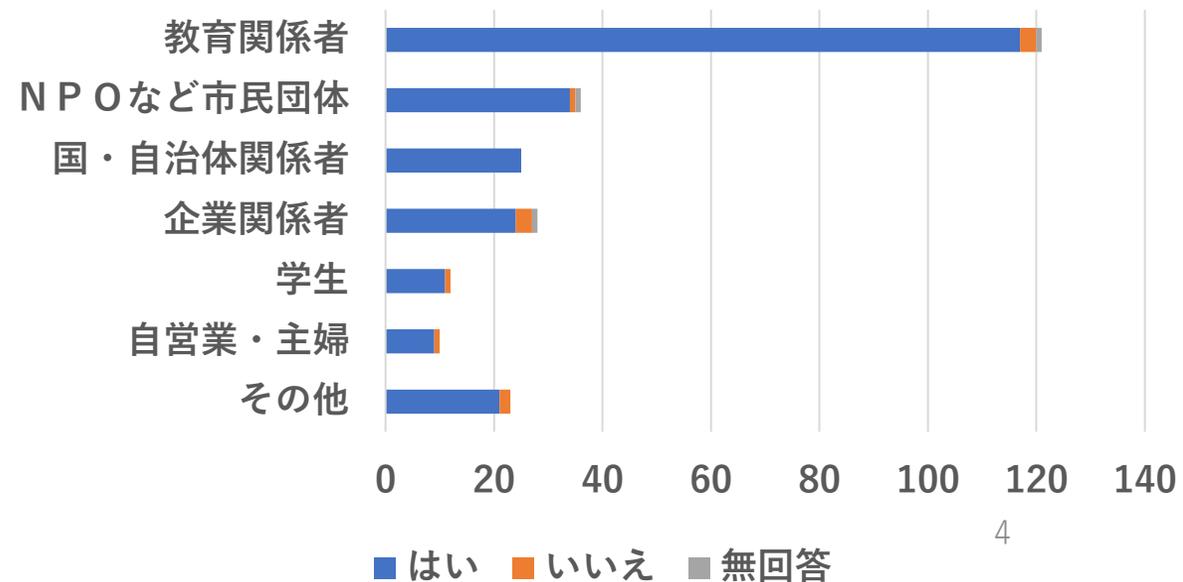
質問3 知っていましたか [2020年]



質問3 知っていましたか 2021年



質問3 知っていましたか 2021年



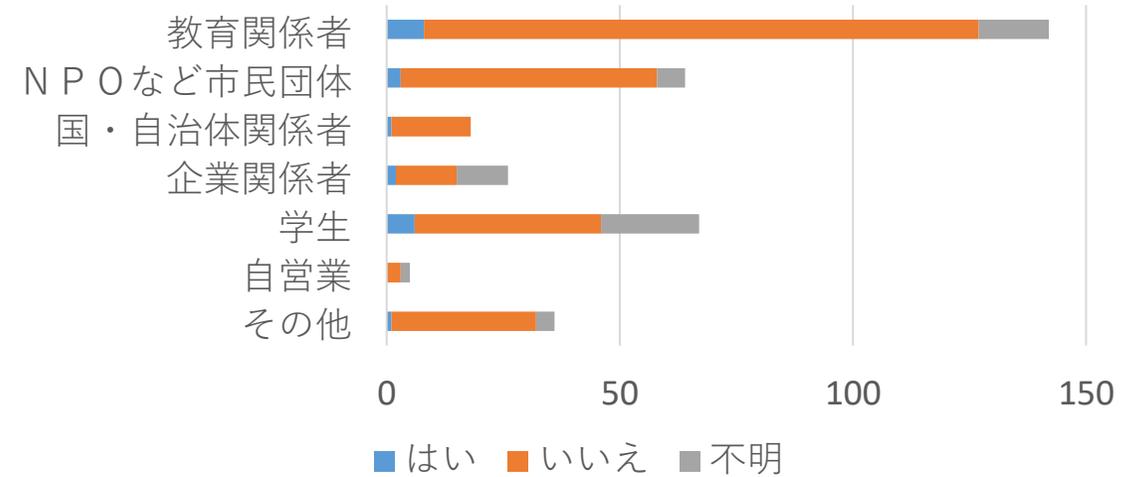
質問4 外国につながるのがある高校生への支援は十分か

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

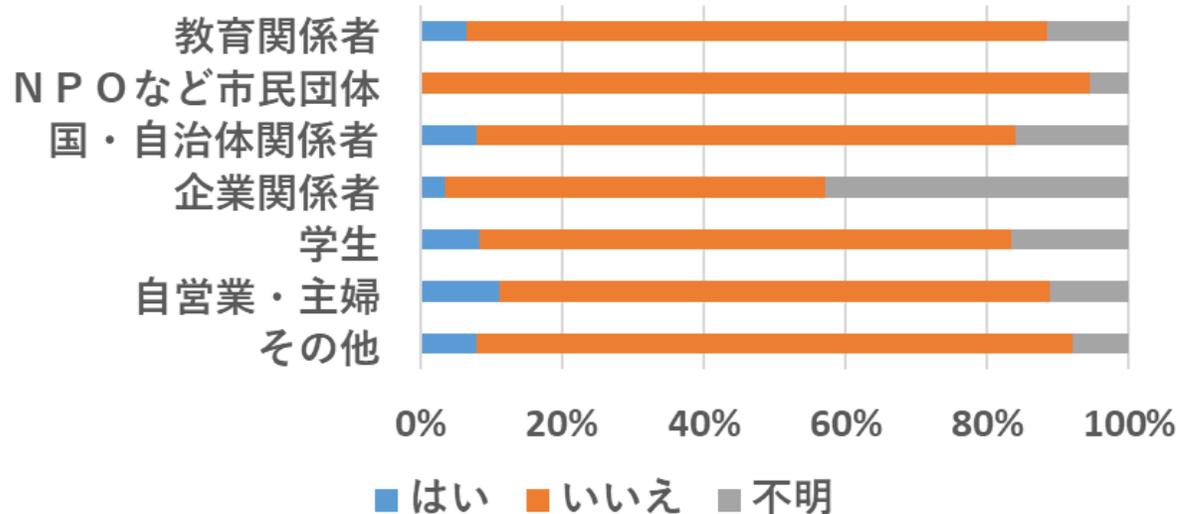
はい 15 5.9% [ 5.8% ]  
 いいえ 203 79.7% [ 77.7% ]  
 無回答 37 14.5% [ 16.4% ]

Q4	はい	いいえ	不明
教育関係者	8	99	14
NPOなど市民団体	0	34	2
国・自治体関係者	2	19	4
企業関係者	1	15	12
学生	1	9	2
自営業・主婦	1	7	1
その他	2	20	2
合計	15	203	37

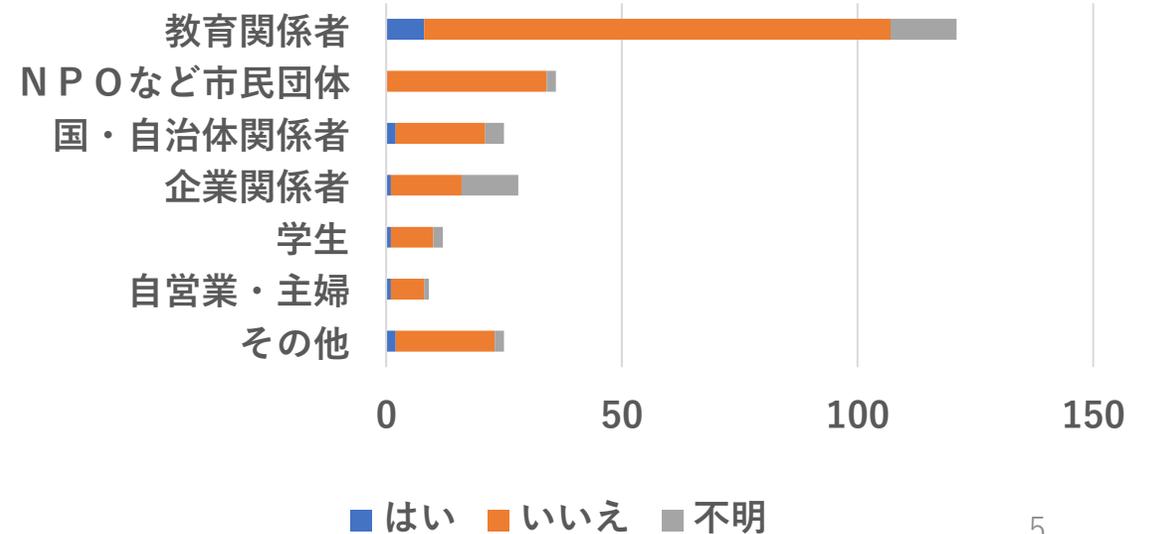
質問4高校生への支援が十分か[2020年]



質問4 高校生への支援は十分か 2021年



質問4 高校生への支援が十分か2021年



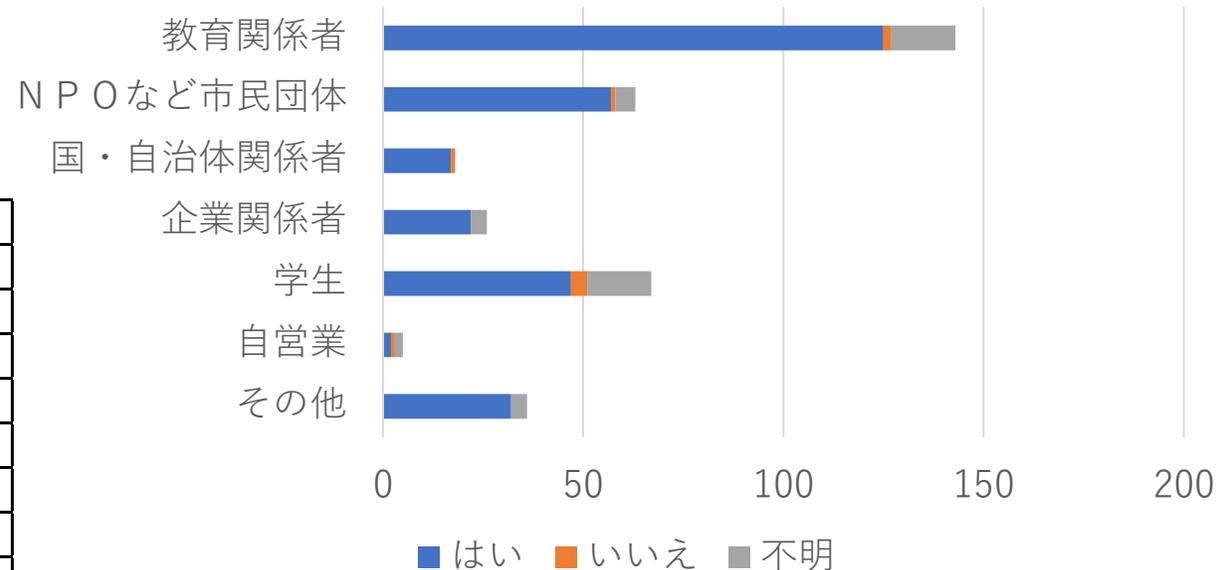
質問5 外国につながるの高校生や大学生の  
就労にハンデがあると思うか

はい 215 84.3% [ 84.4% ]  
 いいえ 7 2.7% [ 2.5% ]  
 無回答 31 12.2% [ 12.8% ]

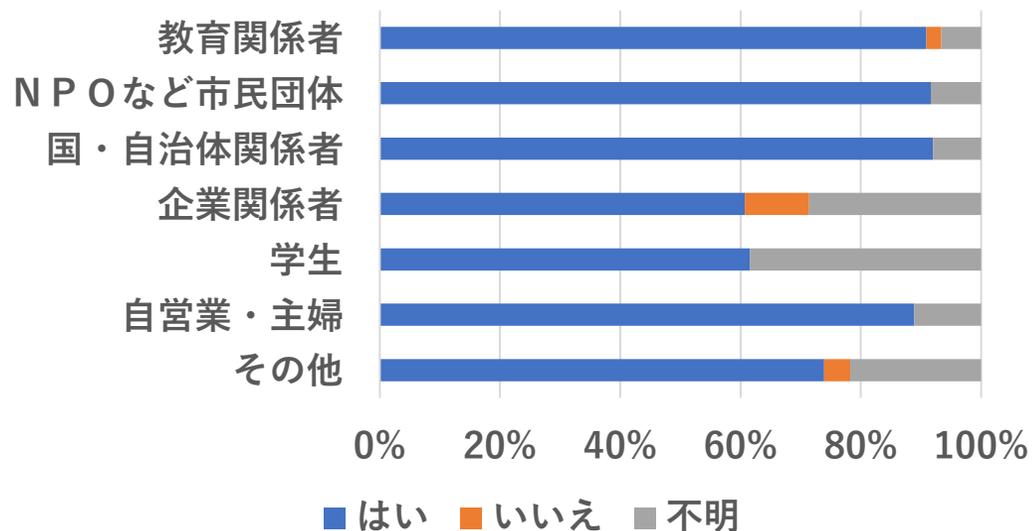
Q5	はい	いいえ	不明
教育関係者	110	3	8
NPOなど市民団体	33	0	3
国・自治体関係者	23	0	2
企業関係者	17	3	8
学生	8	0	5
自営業・主婦	9	0	1
その他	16	1	5
合計	216	7	32

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

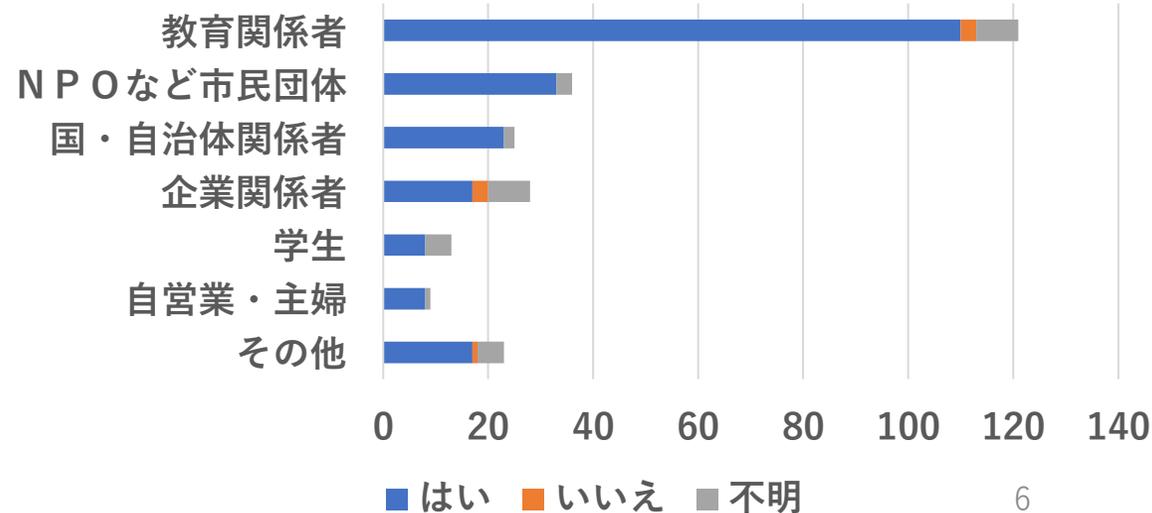
質問5 ハンデがあるか [ 2020年]



質問5 ハンデがあるか 2021年



質問5 ハンデがあるか 2021年



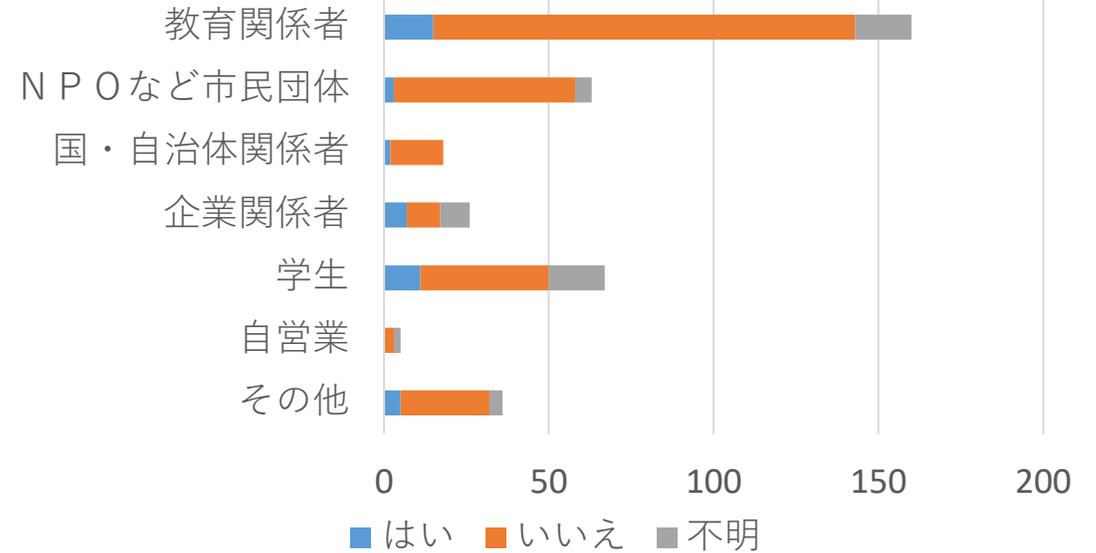
質問6 外国につながるのある小中学生への支援は十分か

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

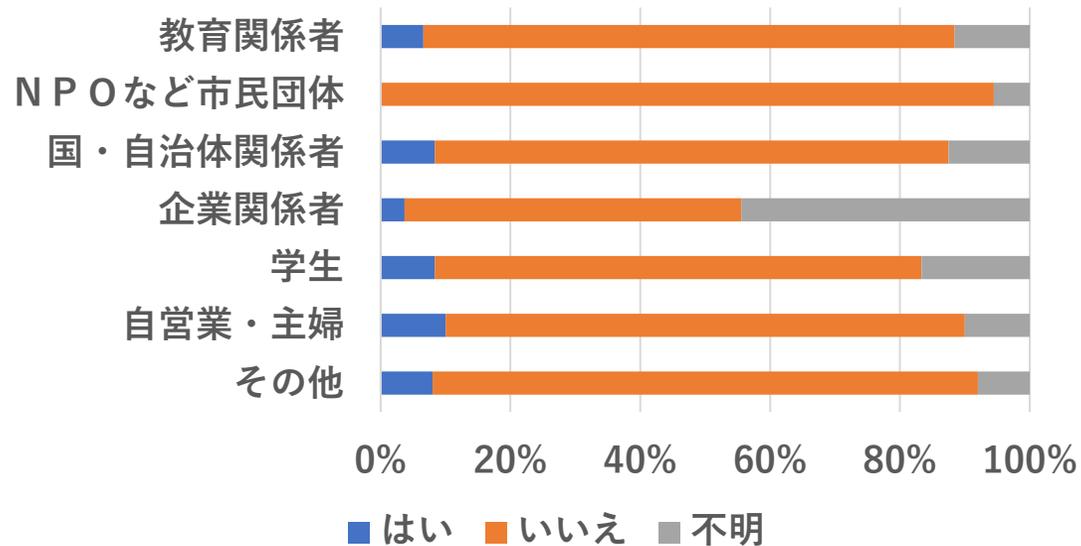
はい	15	5.9%	[ 11.4% ]
いいえ	204	80.0%	[ 73.4% ]
無回答	36	14.1%	[ 15.3% ]

Q6	はい	いいえ	不明
教育関係者	8	99	14
NPOなど市民団体	0	34	2
国・自治体関係者	2	19	3
企業関係者	1	14	12
学生	1	9	2
自営業・主婦	1	8	1
その他	2	21	2
合計	15	204	36

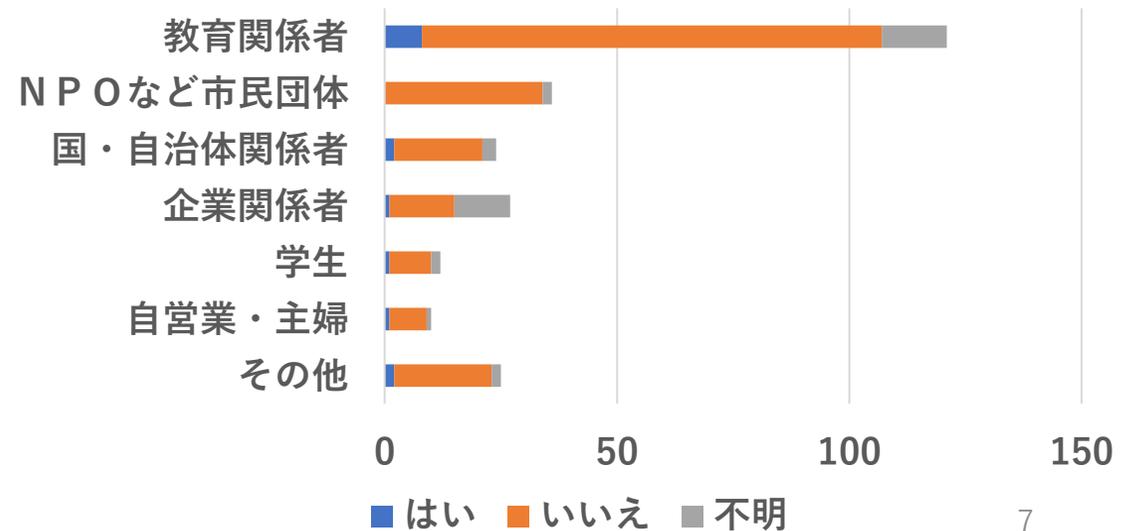
質問6 小中学生への支援十分か[2020年]



質問6 小中学生への支援は十分か2021年



質問6 小中学生への支援は十分か2021年



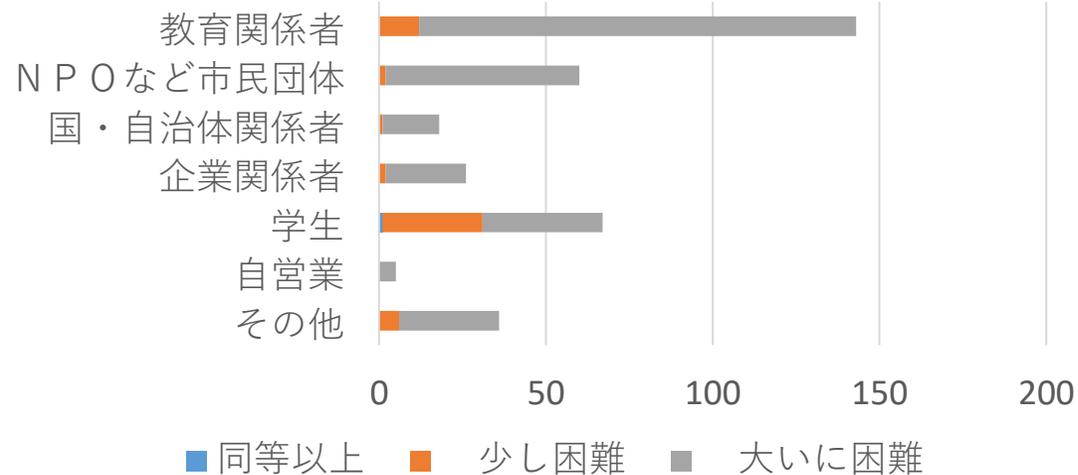
質問7 外国につながるのある高校生の置かれた状態

[ ]内は、2020年数値を参考に示します。

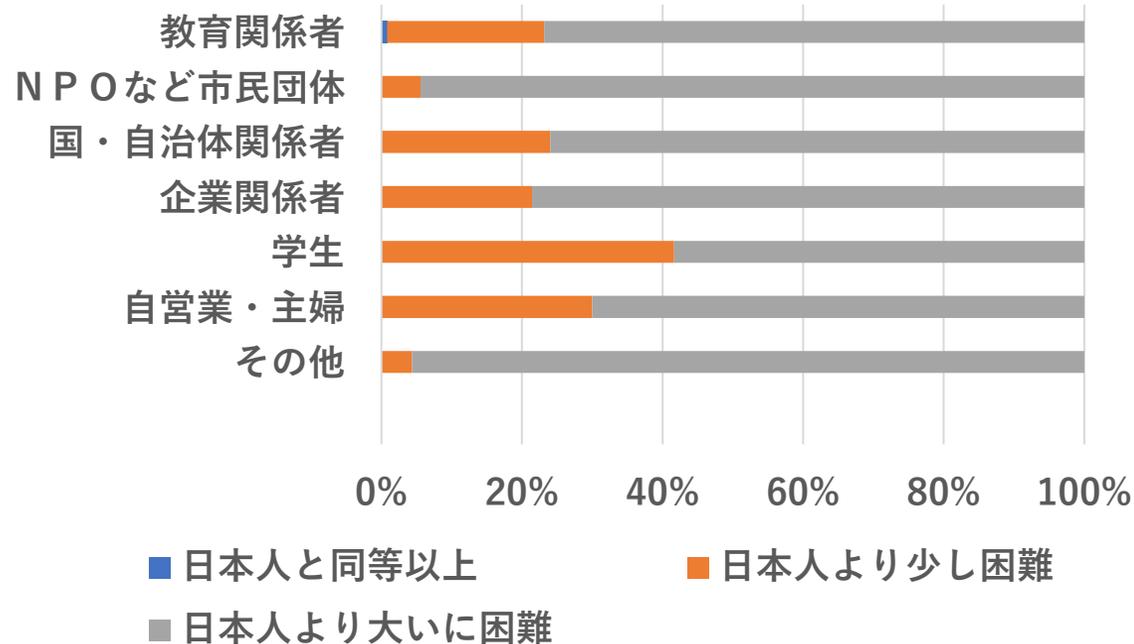
質問7 置かれた状況[2020年]

日本人と同等かそれ以上	1		
日本人より少し困難	50	19.6%	[15.9%]
日本人より大いに困難	204	80.0%	[84.1%]

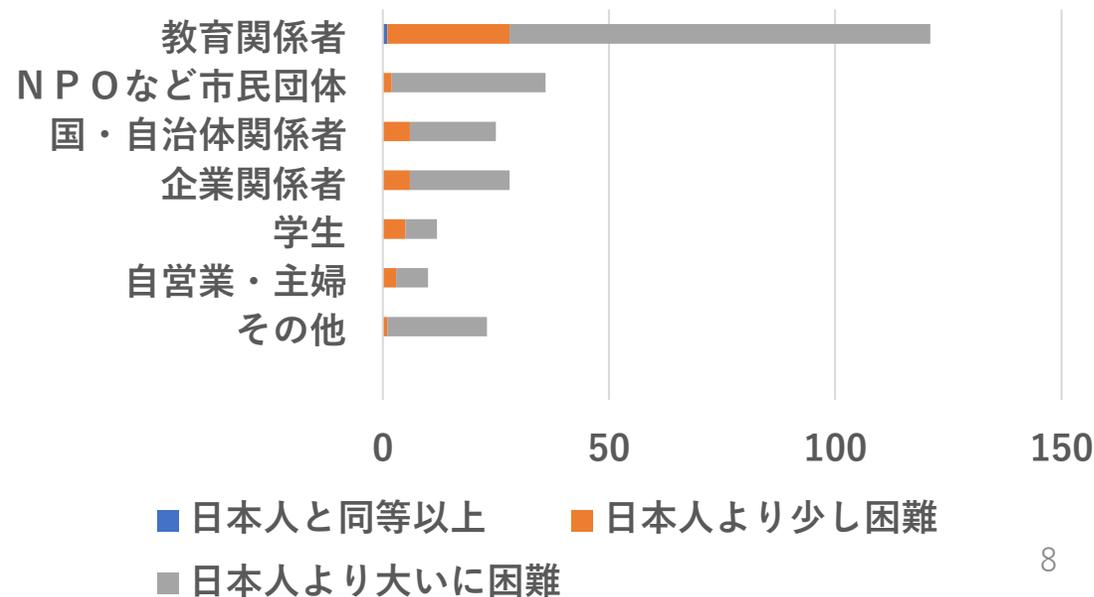
	日本人と同等以上	日本人より少し困難	日本人より大いに困難
教育関係者	1	27	93
NPOなど市民団体	0	2	34
国・自治体関係者	0	6	19
企業関係者	0	6	22
学生	0	5	7
自営業・主婦	0	3	7
その他	0	1	22
合計	1	50	204



質問7 置かれた状況 2021年



質問7 置かれた状況 2021年



問8 高校生支援に必要なこと

今回は、単一回答をお願いしました。

	教育現場での理解と行動	地域や社会、企業の理解と行動	高校と地域の中学校・支援者との良いつながり・連携	都道府県と市町村の連携強化	NPOなど市民の力を生かす仕組みや政策	寛容の心、包摂の心	その他
教育関係者	41	21	24	6	9	13	7
NPOなど市民団体	8	9	1	2	7	3	6
国・自治体関係者	4	10	4	1	2	1	3
企業関係者	2	13	3	0	1	5	4
学生	3	3	3	0	0	2	1
自営業・主婦	2	2	1	0	0	4	1
その他	3	2	4	4	3	4	3
合計	63	60	40	13	22	32	25

- 教育現場での理解と行動
- 地域や社会、企業の理解と行動
- 高校と地域の中学校・支援者との良いつながり・連携
- 都道府県と市町村の連携強化
- NPOなど市民の力を生かす仕組みや政策
- 寛容の心、包摂の心
- その他

質問8 支援の充実のために必要なこと

